



No. 10 2022年3月3日 (木) 文責: 澤本

人を尊敬することで、差別をなくす生き方を 「全国水平社」創立(1922)と『水平社宣言』



1922年3月3日。100年前の今日、京都にある京都市(岡崎)公会堂で、全国水平社創立大会が開かれました。

100年前、部落差別やあらゆる差別をなくすために、立ち上がった奈良、大阪、三重などをはじめとする青年たちが中心となり、全国的な組織の結成へと発展していきました。この創立大会で、発表された「水平社宣言」は、日本で初めての人権宣言であると言われています。

綱領と宣言文には、差別によって引き裂かれていく関係ではなく、人を尊敬することによってつながり、「差別をなくして、よりよく生きていこう」という思いが込められています。

宣言の最後は、「人の世に熱あれ 人間に光あれ」で締めくくられています。

現在でも、部落差別があります。部落差別をはじめとする差別問題や人権問題を「他人事」とはとらえず、自分のこと「自分事」として、できることから取り組んでいきましょう。

★部落問題に関するテレビ番組情報★

NHK Eテレ『ノンリバラ』

放送日 第1回 3月 3日 (木) 20:00~
第2回 3月 6日 (日) 再 午前0:00~

「水平社宣言100年」というテーマで、水平社結成や部落問題の内容です。
ぜひ、ご覧ください。

過酷な部落差別があたりまえだった100年前に誕生した水平社宣言。人間は同情や哀れみの対象ではなく、尊敬すべき存在だと訴えた宣言の理念は、いまも輝きを失っていない。番組では水平社誕生の歴史を通して、宣言の意義を考える。

スタジオには被差別部落出身者など当事者が大集合。当事者が声をあげる意義・支えることの大切さ、「自分を好きになること」など、理不尽な壁にぶつかっているすべての人たちに熱と光を届ける!



(番組ホームページより転用・転載)